

令和5年度 二本松商工会議所 経営発達支援事業報告書

- I. 経営発達支援事業の内容
- II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

上記2項目について、令和5年4月から令和6年2月までの期間における実施内容をご報告いたします（事業年度は3月までのため、最終的な数字は変動する可能性があります）。

I. 経営発達支援事業の内容

【地域の経済動向調査に関すること】

①地域の経済動向分析

小規模事業者がターゲット顧客の見直しを行うためには、まずは外部環境の変化を正確に捉える必要がある。

本項目では日本商工会議所で実施している地域診断サービスを活用。具体的には地域経済分析システム「RESAS」によって示された二本松市の現状（地域経済循環図、人口・従業員数・生産額・付加価値額の推移、産業の構造、観光客の消費動向など）を可視化させた状態で当所ホームページ上に公開した。 《資料1》

項目	RR 4 (申請時)	R5 年度	
		目標	実績
①地域の経済動向分析 ・「RESAS」による「二本松市の地域経済分析について」の公表	1	1	1

②管内経済情勢の把握

本項目は昨年度に引き続き、日々の経営支援をとおして「BIZミル」による経営状況調査を実施（調査期間：令和5年4月～令和6年2月）。

調査結果は別紙のとおりであるが、経営の根幹を成す売上高については約32%の事業所が減少したと回答している（割合は昨年度同水準）。原因としてはエネルギー価格や原材料費高騰が色濃く影響していることが考えられるが、その一方で増加したと回答する事業者の割合は29.6%から37.1%に上昇。既出の環境変化（エネルギー価格や原材料の高騰）を契機とした価格転嫁の交渉等が一部で進んでいるものと思われる。

その他の項目としては、販売促進方法においてホームページやSNS・ブログを挙げる事業者が増加傾向にあり、徐々に当所のDX支援が実を結びつつある。

また、事業承継については後継者の確保に一定の目途が立っている事業者は依然として低い割合で推移している。潜在的課題を有する事業者の掘り起こしを継続して実施していくと共に、支援にあたっては福島県・事業承継引継ぎ支援センターや福島県よろず支援拠点、独立行政法人中小企業基盤整備機構などの専門家を有効に利用していきたい。 《資料2》

項目	R 4 年度 (申請時)	R 5 年度	
		目標	実績
②管内経済情勢の把握 ・「BIZミル」による「経営状況調査」結果の公表	1	1	1

【需要動向調査に関すること】

当所管内には菓子や家具といった特産品があり、小規模事業者が製造・販売をしている商品や製品が多くを占めている。今後、当該小規模事業者が新たな需要を獲得していくには、顧客ニーズや新たなターゲットの発掘、商品のブラッシュアップ等が必要である。

このような背景から、本項目においては「にほんまつ菓子博」、「二本松家具まつり」という2つのイベントにおいて来場者に対するアンケート調査を実施。集計結果についてはそれぞれ事業者にフィードバックし、福島県よろず支援拠点などの専門家を介しながら、今後に向けた商品（製品）のブラッシュアップへとつなげてもらう予定である。

①「にほんまつ菓子博」での商品調査

事業名：にほんまつ菓子博
 実施日：令和6年1月28日（日）
 会場：二本松市市民交流センター
 回答者数：60人（60食分）
 集計結果：別紙のとおり **《資料3》**



項目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目標	実績
①「にほんまつ菓子博」での商品調査 ・調査対象事業者数	未実施	2	2

②「二本松家具まつり」での商品調査

事業名：二本松家具まつり
 実施日：令和5年9月22日（土）～23日（日）
 会場：二本松市市民交流センター
 回答者数：74人
 集計結果：別紙のとおり **《資料4》**



項目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目標	実績
②「二本松家具まつり」での商品調査 ・調査対象事業者数	未実施	2	10

【経営状況の分析に関すること】

○経営分析

事業計画の策定にあたっては、財務諸表の分析だけでは不十分である。

非財務分析といわれる経営者情報（方針、意欲、後継者の有無）や、事業所の強みや弱み、外部環境（市場動向、競合他社）の把握にあたっては、「伴走型小規模事業者支援推進事業」によって導入した「BIZミル」を活用し、次項・事業計画策定に伴う基礎データとした。

また、この経営分析によって専門的な課題が出た案件については、福島県よろず支援拠点の専門家に相談を依頼。当所職員もその場に同席してノウハウを吸収することで、資質向上の機会とした。

《資料5》

項 目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目 標	実 績
○経営分析事業者数	35 (198)	36	43 (177)

【事業計画策定支援に関すること】

○事業計画策定

事業計画の策定は、個社の持続的発展を目指すために有効であることを毎月10日に発行している会報「にほんまつ会議所ニュース」により周知と啓蒙を図りつつ、下記のとおり19事業者の計画策定を支援した。

また、本項目では事業計画策定の一環で、セミナーを主としたDX支援を掲げている。具体的には、事業計画の策定に意欲的な事業者を対象にDX支援を実施することで、小規模事業者の競争力の維持・強化と経営の合理化を促した。なお、DX推進セミナーは令和5年10月18日（水）に実施した（参加者：5名）。

項 目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目 標	実 績
○事業計画策定			
・事業計画策定事業者数	22	18	19
・DXセミナーの開催回数	—	1	1



【事業計画策定後の実施支援に関すること】

○事業計画策定事業所のフォローアップ

事業計画は策定することが目的ではなく、その後の継続支援が肝要である。本計画では、計画策定後の事業所に対して四半期毎を目安としたフォローアップを行い、その後の進捗状況確認や指導を実施した。フォローアップの状況は「BIZミル」で情報を共有し、職員相互の支援状況の可視化（見える化）を図っている。 **《資料6》**

項 目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目 標	実 績
○事業計画策定事業所のフォローアップ	22者	18	19
・頻度	四半期毎(128回)	72	77
・売上増加事業者数	—	6	3
・経常利益増加事業者数	—	4	3

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

①伊達な商談会への出展支援

小規模事業者が持続的経営を続けていくためには、新たな需要の開拓が必要である。その一方で、小規模事業者の多くは経営資源に乏しく、独自での取り組みには限界があるのもまた事実である。

そこで本項目では新たな需要の開拓に寄与する事業の一つとして「伊達な商談会」を掲げ、その支援にあたった。結果的に出展には至らなかったものの、2者に対して「伊達な商談会」を周知し、福島県よろず支援拠点の支援を受けながら「FCP展示会・商談シート」の作成に着手。次年度以降への足掛かりとした。

また、販路開拓のその他の手段として、当所では「にほんまつeマッチング」事業を昨年度からスタートさせた。その結果、令和5年度は5組の商談を実施させることに成功し、一定の成果を収めることができた。

項 目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目 標	実 績
①伊達な商談会への出展支援			
・出展事業者数	—	2	0
・成約件数	—	1	0

② SNS・ECを活用した販売促進

現代においてITを使った販路開拓は有効な手段の一つであるが、小規模事業者の多くは取り組みが遅れている。また、当所管内ではSNSやECを活用した販路開拓に意欲的な事業者が一定数存在するが、思うような成果が上がっていない。このような背景から、本項目では日本商工会議所の「伴走型小規模事業者支援推進事業」を活用し、SNS活用セミナーを令和5年11月16日（水）に実施。セミナーには20名が参加し、SNS・ECに対する意識の醸成と、新たな販売チャネルの確立を図った。

項 目	R4年度 (申請時)	R5年度	
		目 標	実 績
② SNS・ECを活用した販売促進			
・ 実行支援事業者数	—	3	5
・ 売上増加者	—	1	2



II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること】

○事業の評価及び見直し

経営発達支援計画の事業実績やその成果については、本資料を提出する年1回の評価会議によって、評価及び検証を実施する。特に目標未達項目の反省を行い、次年度の事業実施へと繋げる。評価委員については、相馬 由寛氏（中小企業診断士）と二本松市へ依頼した。（令和6年3月18日実施）

【経営指導員の資質向上等に関すること】

①経営指導員のみならず一般職員も含めた支援能力の向上に向けた取組

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが第5類に移行したことに伴い、各種研修会・セミナーは、現地に赴いた上での開催形式に戻りつつある。これにより、小規模事業者の売上・利益向上、販路開拓支援、DX支援、経営力再構築伴走支援の習得・向上は勿論、他の商工会議所や支援機関との情報交換をすることができた。

また、昨年度に引き続いて、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招き、安達郡内商工会職員との合同研修会も実施した。

小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会

日時	場所	参加団体	内容
令和5年 6月 7日 令和5年10月18日	福島市	(株)日本政策金融公庫、県北地区商工会議所・商工会	マル経融資貸付状況や、各管轄地域の資金需要等について情報交換

二本松市創業支援連絡会、中小企業等支援に係る意見交換会

日時	場所	参加団体	内容
令和5年 4月21日 令和5年11月29日	二本松市役所	二本松市、市内各金融機関(株)日本政策金融公庫、あだたら商工会、二本松商工会議所	創業者を対象とする補助制度や融資制度、空き店舗情報の共有と、新たな支援体制の構築について協議

県内商工会議所 経営指導員研修会・補助員研修会

日時	場所	参加団体	内容
【経営指導員研修会】 令和5年 6月15日～16日 令和5年11月16日～17日	福島市 郡山市	県内10商工会議所	県内10商工会議所に在籍する、経営指導員及び補助員を対象に行われる研修会をとおり、小規模事業者支援や事業計画策定、各補助事業の事例等について情報を交換し、その共有を図る。
【補助員研修会】 令和5年10月19日～20日	白河市		

安達地方商工会及び商工会議所経営指導員等研修会

日 時	場 所	参加団体	内 容
令和5年12月 7日	二本松 商工会議所	二本松商工会議所、あだたら 商工会、本宮市商工会、大玉 村商工会	研修をとおり、安達郡内の経営指導 員、経営支援員、補助員の資質向上 を図る。

福島県商工会議所連合会主催 令和5年度新入職員研修会

日 時	場 所	参加団体	内 容
令和6年 1月25日～26日	福島 商工会議所	県内10商工会議所	○店主の予習 ○商いを続けてきて思うこと ○商工会議所の役割とそこで働くこ との意義 など

中小企業大学校 中小企業支援担当者研修（経営診断基礎）※基礎研修Ⅱ

日 時	場 所	参加者	内 容
令和5年 9月11日 ～10月6日	中小企業 大学校 (仙台)	経営指導員1名	小規模事業者（小売業、飲食業、サービス業） の経営特性や経営実態の捉え方、評価の仕方等 基本的な知識とスキルを習得することで、経営 助言能力の養成を図る。

中小企業大学校 中小企業支援担当者研修（AI・IoT活用による生産性向上支援）

日 時	場 所	参加者	内 容
令和5年10月11日 ～10月6日	中小企業 大学校 (仙台)	経営指導員1名	AI・IoTを中心としたITに関する基礎知 識を理解した上で、AI・IoTを活用した企 業の生産性向上を支援する過程で知っておくべ きことや実践ポイントについて、最新の事例を 交えながら学ぶ。

②個人に帰属しがちな支援ノウハウを組織内で共有する仕組み

これまでの当所における小規模事業者の経営支援については、特定の職員の資質や経験に依存する形が続いていた。経営状況内容や支援履歴を共有する仕組みも構築されていなかったことも課題の一つであった。

このことから、専門家による事業者支援への同席や、組織内での情報・ノウハウを「BIZミル」をとおして共有することで本項目の実施内容とした。